



◆2022-2023年度 主題◆

国際会長	ウルリック・ラウリドセン(デンマーク)	「輝かそう、あなたの光を」
アジア太平洋地域会長	利根川恵子(川越)	「変革のための光となろう」
東日本区理事	山田公平(宇都宮)	「未来のために今、学びと気づきを！ 未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
あずさ部部长	森本俊子(長野)	「よい結果をもたらす心の安定と考える力」
甲府21クラブ会長	小澤公紀	「みんな一緒に、1つの目標(YMCAの支援)に向かって行動しよう」

甲府21ワイズメンズクラブ  
2023年7月会報

今月の強調テーマ

キックオフ・P R

【今月の聖句】

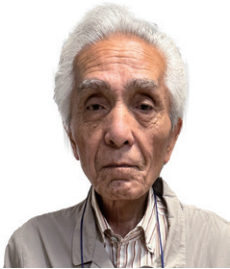
「私が来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。」

マタイによる福音書9章13節

[選者] 赤池 譲司

7月巻頭言

会長 小澤公紀



当クラブの新年度が始まりました。

新たなスタートとなる7月4日のキックオフ例会では、私が体調不良の為出席できずクラブ員皆様や遠くから足を運んでいただいたゲストの皆様にも多大なるご迷惑をおかけいたしました事、又私自身の日常の暮らしの中で他人に対して口では大事な「健康第一」など

と言っておきながら、いかに自分の健康管理がおろそかになっていたのか等、自分自身の健康が全く管理出来ていなかったことを反省しており、又結果として皆様にも多大な迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

本当に申し訳ございませんでした。

さて、新年度において私なりの方向性を「事業計画書」にまとめておりますが、これらの推進、実行にはクラブ員皆様の絶大な協力が絶対不可欠なのは言うまでもありません。皆様の忌憚のない御意見、手法など協力を戴きながらより良い活動ができるよう「みんな一緒に」進めていきたいと考えております。

新年度スタートにあたり、宜しくご協力の程改めてお願い申し上げます。

【もちろん健康第一が、大前提ですが!!】

《7月の誕生者》 Happy Birthday!

<メン>

鎌田 巖(7/4) 浅川 貴明(7/8)  
赤池 譲司(7/16) 功刀 弘(7/26)  
佐藤 哲郎(7/28)

<メネット>

佐藤 彩香(7/8)  
佐藤利之夫人  
依田 礼子(7/18)  
松村 保乃(7/20)  
松村禎夫夫人



[敬称略]

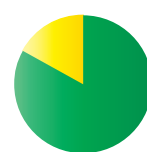
【会計報告】

2022年6月末現在



項目	ニコニコ	バザー	クリスマス	トータル
目標値	250,000	100,000	50,000	400,000
5月の合計	22,720	0	0	22,720
5月末迄累計	254,618	287,471	75,000	617,089
達成率	101.8%	287.5%	150.0%	154.3%

《6月の出席者》



83.3%

会員数	42名
例会出席者	35名
ゲスト参加者	0名
メネット	8名
総出席者数	43名
出席率	83.3%

## 例会報告

書記 水越正高

### 例会報告

□2023 年 6 月第一例会報告□

□日時 2023 年 6 月 20 日 (火) 19:00 ~

□会場 山梨 YMCA グローバルコミュニティーセンター

2023 年 6 月 20 日 (火) では第 4 週の開催だったが、前回は第 2 例会として開催としたことで変則ながら第 1 例会として開催された。

ゲストに末木さん (2 回目の出席) を含む 2 名の参加があり、新しい風を感じる例会となった。例会の内容としては、チャリティーランについての反省・新年度の方針について細かな説明を中心に話し合いが行われた。諸報告としては、切手収集の詳細な説明と来年度のスケジュール確認、あずさ部会の参加者の募集が行われた。加えて今年 8 月に開催される AYC への協力について、甲府 21 メンバー情報を共有し、今後の支援の在り方について話し合いを実施し例会を結びとした。

参加者数 29 名 【会場参加メンバー: 25 名  
メネット: 1 名 ゲスト 3 名】

□2023 年 6 月第二例会 □

□日時 2023 年 6 月 06 日 (火) 18:30 ~

□会場 山梨 YMCA グローバルコミュニティーセンター

まず初めに佐藤理事・荻野実行委員長より、先日開催された東日本区大会についての協力者への御礼と挨拶から例会はスタートしました。

多くの会員の協力に感謝するとともに、大役を果たされた 2 名に大きな拍手が送られました。東日本区大会という大きなイベントの成功のために、一致団結したことで会員同士の結束がさらに固くなった事を感じる瞬間でした。

その後、開催が近づくチャリティーランの詳細確認、当日の役割の説明など、執行部より案内がありました。細かな部分の質問や、当日の流れの確認を実施し、例会を結びとしました。

参加者数 24 名 【会場参加メンバー: 22 名  
メネット: 2 名】

## 2023-2024 年度役員



副会長 輿水順雄



CS・Y サ委員長  
荻野 清



書記 寺田喜長



EMC 委員長  
葉袋 勝



会計 山口 了



国際・交流委員長  
清藤 城宏



あずさ部  
ユース主査 水越正高



ユース事業委員長  
浅川 貴明  
[敬称略]

# キックオフ例会 2023



あずさ部部長  
森本 俊子さん



あずさ部書記  
長谷川あや子さん



会長として最後のスピーチ



山梨 YMCA  
ユース風間さん  
この夏は、  
ネパールへ。



花束贈呈 飯田剛さんへ



クラブ書記お疲れ様。水越さん



2022-2023 年度  
東日本区理事  
佐藤重良さん  
花束を溝口さんより  
贈呈される



山梨 YMCA  
野々垣理事長



皆勤賞連続記録  
駒田勝彦さん



奏楽・杉田博子さん 懇親会 司会赤根学さん

懇親会 山縣讓治さん



7月ハッピーバースデー  
左から 佐藤哲郎さん 鎌田 巖さん 功刀弘さん

担当主事 平賀佳雅さん

## 入会式 末木 咲子さん



2023 年 7 月 4 日 (火) キックオフ例会において、末木咲子さんが入会されました。荻野清さんの紹介。甲府市議会議員として精力的な活動をされる一方で、中央 3 丁目ご出身という事で、地元山梨 YMCA への支援が何かできないかと模索されていた由。よろしくお願ひ申し上げます。



## 熱中症予防

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

### 熱中症の症状

- ▶ めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い
- ▶ 頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う

### 重症の症状

返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだが熱い

▶ WBGT値※も参考に

※WBGT値：気温、湿度、輻射（放射）熱から算出される暑さの指数。運動や作業の度合いに応じた基準値が定められています。環境省のホームページ（熱中症予防情報サイト）に、観測値と予想値が掲載されています。

### 熱中症が疑われる人を見かけたら

#### 涼しい場所へ

エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など、涼しい場所へ避難させる

#### からだを冷やす

衣服をゆるめ、からだを冷やす（特に、首の回り、脇の下、足の付け根など）

#### 水分補給

水分・塩分、経口補水液※などを補給する

※ 水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの

自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう！



### 今後の予定

7月15日 あずさ部第1回評議会

7月27日 YMCA ふくろうキャンプ  
納涼第2例会 キャンプ手伝い終了後 午後

8月 1日 第1例会 19時

8月22日 第2例会 18時半

## ペンリレー

「音楽の神様に感謝！」

杉田 博子

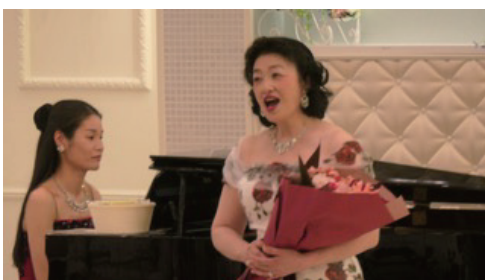
2023 年 3 月 7 日に、甲府 21 ワイズメンズクラブにメンバーとしてお加え頂きました、新参者の杉田博子でございます。今回のペンリレーのお役が務まるか心配ですが頑張ってお役を執り走らせます。

私は「ソプラノ歌手」と言う、珍しい (?!) 仕事をしております。おもに、様々な形のコンサート・宗教曲のソリスト・オペラ公演等に出演し歌わせて頂くのがお仕事です。演奏を聴いて頂いた方に、癒し・慰め・勇気を与える演奏が出来ればと考えながら活動しております。そして、終演後“よかったよ〜”とおっしゃって頂くのは演者の醍醐味かも知れませんね。また 25 年程、中高・大学で講師を務め、後進の指導にも力を入れて来ました。演奏するだけでなく教える事は、自身の学びや発見につながる大事な作業です。演者である事と教える場を頂ける事、とてもありがたい経験になっております。クラシック音楽は「堅苦しい」「あまり聞かない」etc. と言われがちですが、自身のする「歌」は、場所や道具を選ばず皆さんのお役に立つ場面が多いのです。

ここ 20 年近く、温泉病院などで「音楽療法」にも携わっております。肢体に病を持ち不自由を覚える方々に、心の病で発声困難になった方に、共に寄り添い機能回復をするお手伝いをしております。もちろん、歌を使って!! また各施設でも、童謡・唱歌はたまた懐メロまで、何気なく口ずさむ事をご一緒しています。この様に、“音楽”を使う要素が沢山ある事を知って頂き、さらに“生”の演奏に触れて「聴いてよかった〜」と思っただけのよう活動し続けます。

高校生の時にドイツ語の歌に“魅せられ”歌い手を志し、その後不出来な自分と葛藤した大学生時代、何とかここまで音楽の道を歩んで来られました。まずもって「音楽の神様」に出会えた事に“感謝!”。この道を選び、真っ直ぐ進むオテンバ娘を黙って見守ってくれた“祖母”“両親”にも感謝ですね。そして今日まで、お聴きくださりお支え頂きました皆様にも感謝でいっぱいです。また、この先はワイズメンの一員として様々な場面で多くの方のお役に立てるよう努めてまいります。

(2023 年 6 月 25 日のコンサートの写真を添えて)



## ◆YMCA 便り◆

「守られているチャリティーラン」

総主事 中田 純子

6 月 10 日 (土) 第 25 回インターナショナルチャリティーランを開催しました。

3 月 17 日から 5 回の実行委員会には、ワイズメンズクラブの皆様にもご参加いただき、協議を重ね実施することができました。台風の影響もあり大雨の前日、25 回開催した中で中止は一度もない事実を信じ、職員一同、晴れる事を想定し前日には準備で忙しい一日を過ごしておりました。

昨年は開催時刻 3 時間前から本降りの雨となり、総主事として判断を委ねられるあわやの場面を記憶しております。しかし雨が小雨となり、開会式が始まると雲の間から一筋の光が差し込み、これこそが神様に守られていると、喜びを隠せなかったチャリティーラン。

今年は早朝から実施と断言できるほどの天気となり、神様に守られていたことに喜び感謝する時となりました。

コロナ禍の中、会員のみ参加のチャリティーランを実施してきた 3 年間から、今年度は 0 才からの宝拾い、リレー形式の小学校低学年の部、小学校高学年の部の実施、大人の部は以前の競技内容に戻し 1.1km を走るリアルランとして開催。困難の中から生まれた新しい形の山梨 YMCA チャリティーランに「FORALL」が表現され、開催できましたことに感謝申し上げます。会場部、競技部として協力してくださったワイズメンズクラブ、メネットの皆様にも感謝いたします。協賛企業、団体、大学、高等学校、チアダンスチーム、フライングディスク協会の皆様へも深く感謝いたします。そして、子ども達へのサポートに始まり、運営に協力してくれたスタッフにも感謝いたします。

次回、第 26 回の開催に向けて、神様の豊かな恵みに守られるように、祈りの時を守りたいと思います。

